

令和元年度 自己評価結果公表シート

作成 都島中野幼稚園

1、 本園の教育目標

「明るく元気に、心身共に健やかで、何事にも意欲をもって挑戦することができる子ども」
「自分で感じ考え、行動できる子ども」を教育の目標とし、日々の保育に取り組む。

○子どもたち自身が、五感を通して感じ・考えることを大切に、“幅広い体験”を重視し、調和の取れた豊かな教育を目指している。

○「食べることは生きることの基本である」と考え、子どもたちの健やかな心身の成長を願い、食育に力を入れ、安心安全な食材の提供、食育指導などに取り組む。

2、 令和元年度、重点的に取り組んだ目標・取り組み状況と評価とその今後の課題

評価項目	取組状況
安全管理	<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none">・ 防火・防災・防犯訓練の取り組み 具体的な各場面を想定し、わかりやすい訓練を実施する。・ 災害用品・備品の点検、整備を行い、非常時の必要な備えを充実させる。・ 園舎の危険個所の点検を行い、安全な環境を整える。 <p>取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ 月1回、火災・地震・津波の災害訓練や不審者侵入に対する防犯訓練、年3回、保護者の方と災害時引き渡し訓練を行った。・ 災害用品・備品の点検を行い、必要な備品を購入した。・ 通園路の安全確保のため JR トンネル内のブロック壁の撤去工事を行った。・ ブロック撤去後のフェンスに災害時に備えて避難用の扉を設置した。・ 全部の保育室の窓に遮光スクリーンを設置した。・ 男児用トイレの水洗器具を全て取り換えた。 <p>評価と反省点</p> <ul style="list-style-type: none">・ 災害時の訓練を具体的にわかりやすく実施することは、想定場面や考えられる行動が多いため、さらに実施方法を工夫する必要がある。・ 通園路ブロック撤去により、外からの見通しがよくなり、避難扉の設置とあわせて園庭の死角をなくし安全確保ができるようになった。・ 保育室において日差しを遮ることができるようになった。また、外部からの目隠しとしても使用できることで不審者に対しての安全対策になった。・ トイレの臭いやつまりがなくなり、衛生的に気持ちよく使用できるようになった。
子育て支援	<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none">・ 支援体制を整え、園児と地域の保護者に対してキンダーカウンセラーへの参加を呼びかけ、不安解消、育児支援にとりくむ。・ 地域の未就園児親子登園を実施し、保護者支援を行い、保護者間の交流を深め、子育て不安に対応できる様に体制を整える。・ 保育料、預かり保育の無償化に伴い、受け入れ体制を整え、保育内容を工夫する。 <p>取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ 未就園児親子登園を月4回実施した。積極的に支援できる様に、キンダーカウンセラーの相談も行うことができた。・ 預かり保育の体制見直しを行い、保護者にも使いやすく、増えた事務手続きの簡略化や明確に行える様に検討を行った。

	<p>評価と反省点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの未就園児の参加があり、保護者間の交流を深めることができ、プログラムも楽しく過ごすことができたと参加者より評価された。 ・今後も教員の研修や協議を重ね、引き続き広く支援活動ができる様に努力する。 ・預かり保育無償化による定員設定のため、申し込み方法や利用の煩雑さが増した。保護者の方も使いにくい面があり、改善方法が必要である。
<p>教育内容の充実</p>	<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月毎(年 11 回)に課題と目標を決め、目的をもって活動できる様に工夫する。 ・考えながら意欲を引き出すために、幅広い実際の体験を工夫する。 食育、科学遊び、運動遊び、ごっこ遊び等 ・体幹を鍛える遊びを工夫する。 <p>取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣や季節を感じる目標を貼りだし、毎日クラスで確認し目標をはっきりすることで具体的に生活習慣を身につけ、月毎の活動につなげた。 ・すり鉢や包丁を使ったり、クッキング、科学遊び、達成カードを使った運動やおみせやさんごっこなど遊びの中で実際にいろいろな体験活動を行った。 ・集団行動、運動遊びを継続して行った。 <p>評価と反省点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの活動により子どもたちが意欲的に考え行動し、運動能力も向上した。 ・コロナ拡大により 3 月の休園により、中途半端なままになってしまったプログラムが残った。 ・社会状況の変化によりゲームやスマホの動画の世界に生きている子どもたちの身体能力の低下や思考方法の変化にあわせて興味をもって実体験を行うよう設定する事が難しい。

3、 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

教職員間の協議を密に行いながら、取り組みの工夫ができた。

園児の年齢や個々の能力、興味にあわせて徹底することが難しく、今後の継続的な実践により、さらに意欲的に活動することができる様になると感じた。

10 月からの保育料、預かり保育の無償化や、また学年末には新型コロナウイルス感染症拡大など次々と社会情勢が変化し、幼稚園においても受け入れ態勢や保育内容の変化が必要になった。

今後、新しい社会の仕組みに合わせて動画配信や行事の見直しなど、柔軟に最善の保育ができる様努力していく。

4、 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
<p>安全管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き安全点検を実施しながら、危険個所の補修を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・全部の保育室の窓に紫外線 99%カットコーティング工事を行う。 ・LED 照明器具への取替え工事を行う。 ・新型コロナウイルス感染症防止対策をできるだけ徹底する。 ・園児一人ひとりが自分の身を守ることの大切さを感じて行動できる様に訓練を行う。

	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害、交通安全、防犯訓練、感染症予防の指導を徹底する。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育の管理システムを導入し事務量を軽減し、保護者にも利用しやすい体制を整える。 ・引き続き園児と地域の未就園児の保護者への支援体制を整える。 親子親睦会・キンダーカウンセラー・音楽会や講演会などの開催 未就園児親子登園の充実など
教育内容の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが楽しんで多くの体験ができる様に保育内容を充実させる。 ・食育指導において、食の大切さを知り健康な身体づくりするための工夫をする。 ・今後の状況にあわせて動画配信などを活用し、行事や園の情報を発信していける工夫をする。またそのための設備を整える。 ・よりレベルの高い保育内容を継続するために働きやすい職場づくりをめざす。処遇改善よりよい職場改善と教員間の連携を強めていく。

5、 学校関係者の評価

保育内容、安全管理について園児のための配慮がなされ、適切に運営されている。次年度も園児や保護者、地域の子どもたちのための幼稚園として、積極的に保育にあたっていく様にとの意見をいただいた。

6、 財務状況

公認会計士監査により、「適正に運営されている」と認められている。